

【ルール講習会】 * 本部主催のエリア研修会(2022/3開催)資料より抜粋

セルフジャッジ5原則

1. ラインに触れた、判定するのが難しい時…**イン** 相手に有利に判定する
2. はっきりと空間が見えた時…**アウト**
3. はっきりとスコアアナウンス
4. ジャッジは速やかに声・ハンドシグナル
5. コート外の人には選手のジャッジに口出ししない

セルフジャッジで大切なこと

- ・聞こえる声と見えるハンドシグナルを使って相手選手にジャッジを伝える
相手のジャッジを尊重して受け入れる
どうしても相手の判定がおかしいと思うなら、RUを通して確認するのがよい。
相手の判定に不満があるときは、冷静に節度を守った態度で確認を行うことが大事。
試合中、ヒートアップして相手に暴言などを吐かないようにする。

(1) セルフジャッジでミスジャッジ 正直にすぐに訂正する!!

- *1回目はポイントレット **故意ではない妨害**…フォールト! ごめんなさい入ってました
明らかなウイニングショットはポイント成立(ミスジャッジした選手の失点)
 - *2回目以降は失点 **故意の妨害**
 - *ペアで判定の食い違い→失点…A:アウト~B:入っていました
 - ・ペアの判定の食い違い ①食い違いで**失点**すぐに訂正したら**レット**
 - ・ペアの判定の食い違い ②1人が判定しすぐに訂正したら**レット** ペアがアウトと主張→食い違いで**失点**
 - ・ペアの判定の食い違い ③2人のアウトをすぐに訂正したら**レット** 1人がアウトを主張→食い違いで**失点**
 - ・ペアの判定の食い違い
 - *ダブルスでペアの判定の**食い違いは失点** ペアの判定は**一致しないといけない**
 - ①A:アウト B:入っていました→失点(Aも入っていたと認めれば、レット)
 - ②A:アウト あっ!入っていました→レット(Bがアウトを主張すれば食い違いで失点)
 - ③A&B:アウト B:入っていました→レット(Aがアウトを主張すれば食い違いで失点)
- 質問: ダブルスでレシーバーがフォールトをコールしたがペアが即座にインと訂正した場合はやり直し?
①のケース…やり直しではなく失点

(2) セルフジャッジ レットのコール…リプレイ? ポイント成立?

- ◇レットのコールはプレーを止めてポイントをやり直しする時
ボールが入って来た/帽子を落としたなど(相手選手のみコール出来る)
通常、レットのコールは両者できるが、持ち物を落とした時だけは相手選手のみレットのコールができる。
- ◇チャンスボールの時のレットのコールは?
ボールが入って来た時にコール
気が付いたタイミングでどちらの選手もコール出来る
チャンスボールを打って確実に決まるかどうかはわからない。その時にボールが入って妨害があったと判断したときに両選手ともコールできる。
- ◇ボールを打つ前→リプレイ(反射的な返球の場合もあり)
ボールを打った**後**(ボールがアウトした、ネットを超えない)→ポイント成立
気づかずポイントが**終わった**、レットのコールをしないままプレーが終わった→妨害はなかった
ポイント成立

(3) 誤りの訂正

- ・サービスの順番の誤り→すぐに訂正 相手のフォールトは引き継がない
- ・ダブルスでパートナー同士の順番が間違っていた場合は間違いに気づく前に打たれてたフォールトは取り消されない
- ・サービスの順番の間違いに気づいたとき、すでにゲームが終了していた場合は入れ替わったままの順番で続ける
- ・レシーブの順番の誤り→このレシーブゲームは誤ったまま行い、次のレシーブゲームで訂正
- ・ノーアドの試合 1ポイントプレーして気が付いた
→その結果が成立 2022年ルール改正P60② もう1ポイントプレーするという旧ルールは無くなった
*一度選択したサイドは変更できない
- ・間違いに気が付くまでのポイントは原則全て有効(フォールトの場合は有効にならず取り消しになる)

(4) サーブとレシーブをする時 ルールブックP21、P56の9の10

サーバーはレシーバーが構えているか確認する

レシーバーはサーバーの理にかなったペースに合わせて構える

- ・レシーバーが構える前のサーブはそのサーブのやり直し
(サーバーはレシーバーが構えたことを確認する)
- ・レシーバーが構えたのを確認し、2ndサーブを打つ直前にノットレディを知らせた時又は、サーバーがそれに気付かずサーブを打ってしまった→ノットレディが成立 1stサーブ
- ・ノットレディはサーブを打った後は認められない
- ・サーバーのペアがボールを拾っているのが気になった
- ・シューズの紐がほどけているのに気が付いた

サーブを打つ前に知らせる 気になりながらも返球したらノットレディは成立しない
プレーした通りにポイント成立

ルールブックP16 規則21 サーブとレシーブをするとき

P56 Q10 第2サーブで、レシーバーがノットレディで手を挙げていた場合

講師への質問

- ① 今年のルール改正…ノーアドの試合でアドサイドのラリーの途中で気が付き、止めた
→何らかの理由で止められないので止めた方の失点、ただし両者が認めて納得した時は前のポイント
ノーアドの時に限らず、プレー中に間違いに気づいても、プレーを止めてはいけないので
プレーを完了してから、訂正をしなくてはいけない。
- ② トイレ休憩をすでに1回取った選手がもう1回取って時間内に戻って来ない時
→コードバイオレーションの対象になる 時間の遅延行為
- ③ ダブルスでAフォールト、Bイン
→失点、Aフォールト、Bイン直ぐにAがインと認めたらレット ファーストサーブから
- ④ ファーストサーブがフォールト、その後レシーバーがまだ準備されていないときにセカンドサーブを打とうとした
のでノットレディとコールしたら、ファーストサーブを要求された
→基本的にサーブをする時にはサーバーはレシーバーが
構えていることを確認してからサーブをしなくてはいけない。準備が出来てない時のサーブをした場合は、
そのサーブのやり直しなのでセカンドサーブのやり直し
- ⑤ レシーバーのレディ確認をしてセカンドサーブをうちました。蜂が飛んできてノットレディ状態になる
→トスアップしてるならファーストサーブから、サーブを打つ前だったらセカンドサーブのやり直し
- ⑥ 誤りの訂正 ラリー中カウントが間違っているよ！と言ってプレーをとめた
→とめた方の失点
プレー中に声を出すことはいけない事なのでプレー中は声を出さない、終わってからポイントの確認をする
- ⑦ 筋けいれんについて 熱中症からの熱けいれんはMTOは1回取れる。

スポーツマンシップとフェアプレー

- ・スポーツする時に必要なもの①相手選手②ルール③審判
- ・この3つを尊重して全力でプレーし、良い試合を作る心構えがスポーツマンシップ
- ・フェアプレーはスポーツの基本。相手をリスペクトしてプレーする事が大切
- ・セルフジャッジの試合では審判がいないので、選手が審判しながらプレーする事になる。
スポーツマンシップを問われる厳しい試合方法です
- ・ルールはお互いに気持ちよくプレーするためにある、罰するためにあるものではない
〈これはスポーツマンシップに則っていますか？〉
- ・RUへの暴言 ジャッジでもめた時に
- ・自分の有利なように判定する、主張する(イン・アウト・スコアの間違い)
- ・ボールの受け渡し親切でない

ソロチェアアンパイア(SCU)方式のやり方

セルフジャッジと同じように選手が自分側のコートラインに関する判定をし、審判台に座った SCU がポイント等をアナウンスして審判用紙を記入していく試合方式です。

①選手が行う判定とコール

ネットより自分側のコートラインに関する判定とコール(グッド・アウト・フォールト)
※レット・ノットアップ・タッチ・スルー等を判定してはいけない。(SCU の役割)

②SCU の役割

- (1) 試合開始と試合終了のアナウンスをする。
- (2) ポイントやゲームカウントをアナウンスする。
- (3) 審判用紙を記入する。
- (4) 時間を計測し、必要なアナウンスをする。
(練習時間3分・ポイント間 25 秒以内・チェンジエンド 90 秒以内)
- (5) 明らかに間違っている選手の判定をオーバールールする。
※選手のグッドをアウト・フォールトに訂正した場合、アウト・フォールトになる。
※選手のアウト・フォールトをグッドに訂正した場合、アウト・フォールトと判定した選手の失点になるが、ネットの触れたサービスに対するフォールトをグッドに訂正した場合はサービスレットになる。
- (6) レット(ポイント・サービス)・ノットアップ・タッチ・スルー等を判定しコールする。

③予想されるトラブルと対処法

(SCU より先に)選手がレット(サービス)・ノットアップ・タッチ・スルー等をコールした。

- ① コールでプレーが停止した場合は、コールした選手の失点になる。
- ② プレーが継続しポイントが決まった場合、そのポイントが成立する。
- ③ 相手選手がコールに同意している場合、レットはやり直しに、タッチ・ノットアップはコール通りにポイントが成立する。

* SCUの時の問題

・SCUとセルフジャッジ

- ・選手のコールはアウト、フォールトのみ
- ・それ以外はSCUがコール
- ・SCUは選手の**明らかなミスジャッジ**をオーバールールする 際どいジャッジは選手を尊重
- ・SCUは**選手のアピール**によって判定をかえては
いけない

SCUの時のミスジャッジ

- ・選手自身がすぐに訂正→失点
(1回目も失点)
- ・SCUがオーバールール→失点
- ・ルールの変更はなし

レットのコール SCUの時

- ・主審(SCU)がいる試合では主審(SCU)がコールする
- ・SCUが気が付いてくれない
- ・選手が先に気づく
- ・プレーが終わり、失点してからボールが気になったと言われる
→コールがないときプレーを続ける
*どうしたらタイミングよくコール出来るでしょうか???

*大会本部で選手がレットのコールをしても良いとか、試合進行がスムーズに行くように決めても良い
*心の余裕、視野を広く、周辺に視野を広げる、スコアカードばかりみないで周りも見る

→高知県支部ではSCUに不慣れなため、ボール侵入のレットは選手がコールをすることを認めます。